

聖 闘 針

attack on kipotan

清炭ハリケーン

Kiposhimi Hurricane

ADULT
ONLY



エレンとのすれ違いから
寂しさを埋め合わせるため
リヴァイに体を許してしまうミカサ

しかしその行為の中
頭によぎるのは
エレンの温もりだった……

ミカサはエレンへの気持ちを
リヴァイに伝えるが……

そのとき……二人の行為を
エレンが目撃されてしまう

三人の関係が交錯しはじめる……

ねえ……



最近なんか……
様子がおかしいよ



どうしたの
二人とも……

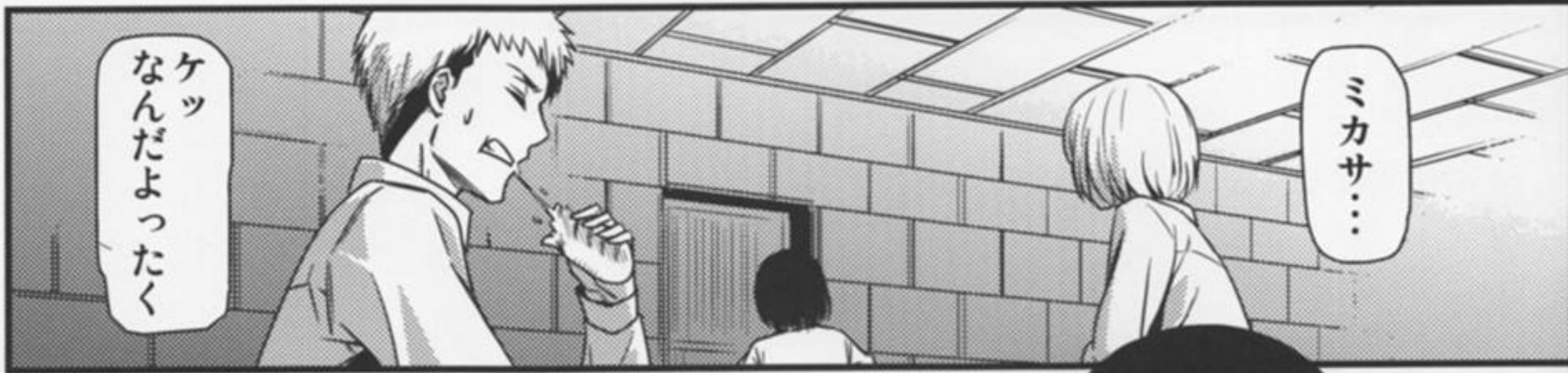




私が行く…

アルミン

ちよつとエレン!!
どこ行くんだよ



ケツ
なんだよったく

ミカサ…



エレン
まって!!



ケツ



エレンは誤解
している

私とあの人の
関係は

エレンが思っている
ようなものじゃない



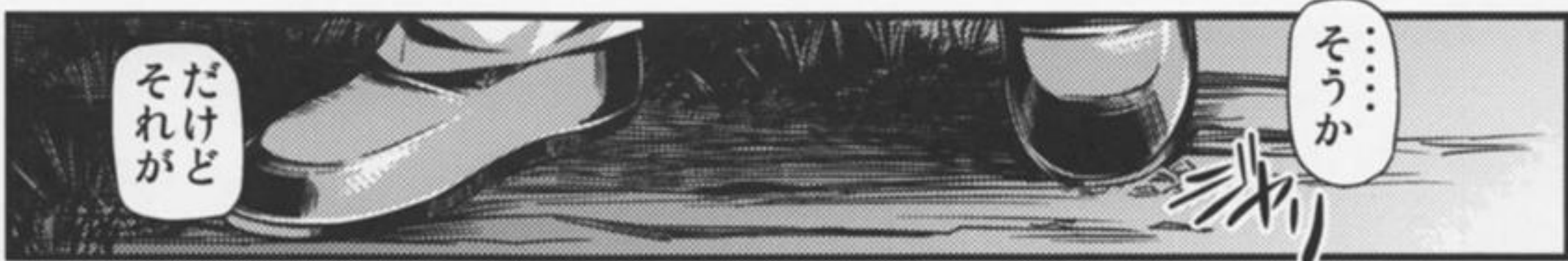
あの夜
……?



なんか
ようか?



あの夜の
ことを
話したくて……



……
そうか

……
それが



っ!!

ミカサ……

俺は別に
お前の恋人でも



なんでも
ないんだぞ



俺になん
の関係が
あるって
いうんだ

お前がなにを
しようが……

誰と
付き合おうが

俺には関係
ない……

悪いがもう俺に
関わるな……

迷惑なんだよ……

相

いやだつ

私はエレンの側に
いたい……!!

エレンの為なら
なんでもする

だから
側に……

お願い
側にいさせて!!



うう

俺は
見たんだぞ
……!!



虫が
いいんだよ!!

お前の
言葉なんか
信じられるか



お前は
兵長と……

兵長とあんな
獣みたく
繋がって……



俺の為なら
何でもするって
言ったよな……

脱げよ……



え



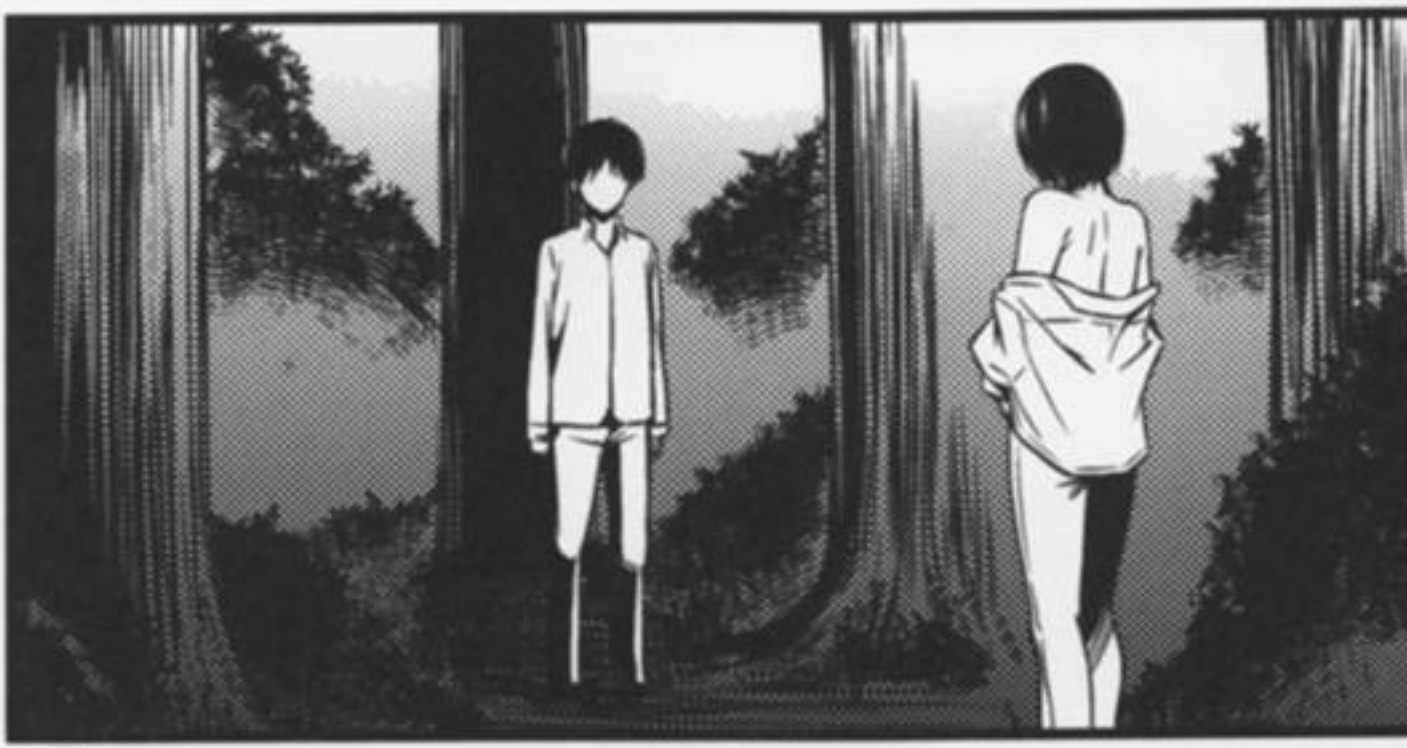
言葉に偽りが
ないなら
今ここで……服を脱げよ



う……



エレンが望む
なら……







はは…

マジかよ
……

マジで
脱ぎやがった

うう…



なんだよ
おいっ!!

本当に俺の
言うことなら
何でも
するってのかよ

はははは!!

おまえマジで
頭おかしいんじゃないか!!



それとも
なにか!?

男の前で裸に
なるなんて
訳無いってか!?

違う!!



どうだか…

ア

そうやって
兵長も誘ったか?
んじゃないのか?

そ

そんなこと
しない!!



私... エレン
だから

エレン... だから

チッ



勘違いすんなよ
ミカサ!!

お前の気持ち
なんてどうだって
いいんだよ

お前がなんでも
するって言った
んだろ!!

だから今からお前は
俺の玩具なんだよ

嫌なら
拒めばいい

すぐに
開放してやる



だが
お前の言葉は

一生信じない
からな



昔はよく一緒に
水浴びして
たつてのに……

いつの間に
こんな成長
してたんだよ……

すげえ
腹筋だな
……



これとかの
立体起動の
邪魔に
ならないのか？



動いたら
拒否と
みなすぞ

あっ



あ



おっと
姿勢は崩すなよ





お……

なんだよ……
感じてるのか？

くっ



ハア……ハア……

柔らかいとこは
ちやんと
柔らかいの……
なっ

んぐっ

ミカサ……

お前の身体
筋肉質だと
思ってたけど



ああっ

張りもあって
揉み応え
サイコーだぜ



まだ風呂
入ってなかつ
たのか？

匂いも
スゴいぞ……

うう……



ああっ



あっ

こっちは
どうなってんだ？



めちやくちや
とろとろ
じゃねえか



うおっ
なんだよコレ…



え…エレン
まって

激しい…あっ

あっ
ダメっ



女ってみんな
こうなのか？

あっ

あああっ

指が
蕩けそうだぜ



アッ

ち…違う

なんだよ
やめて欲しい
のか？

なら
ちやんと脚を
開けるよ



リヴァイ兵長も
そりや入れたく
なるわな…



そんなに俺の指がいののか!?



あっ

どうして!?

あっ



はははっ!!
感じすぎだろ
ミカサ!!

あああああ



あの人のせいで

私の身体…



すげえー!!
どんだん
溢れてくるぞ



気持ちは
関係なく
身体が…!!



こんなの
望んでないのに



変えられて
しまった



なに勝手に
休んでんだよ

おいおい…



ハア

ハア

ハア

ハア



嫌ならもう終わりにしてもいいんだぞ……

どうする？



あ……ああ

ご……ごめんなさい



所詮お前は口だけなんだよ

さっさと認めろよ

それで兵長に慰めてもらえばいいじゃないか……



やっぱお前頭おかしいわ……



私を……信じて貰えるまで……

エレンの好きにして……

私の本心だから……



……っ

い……嫌じゃない……

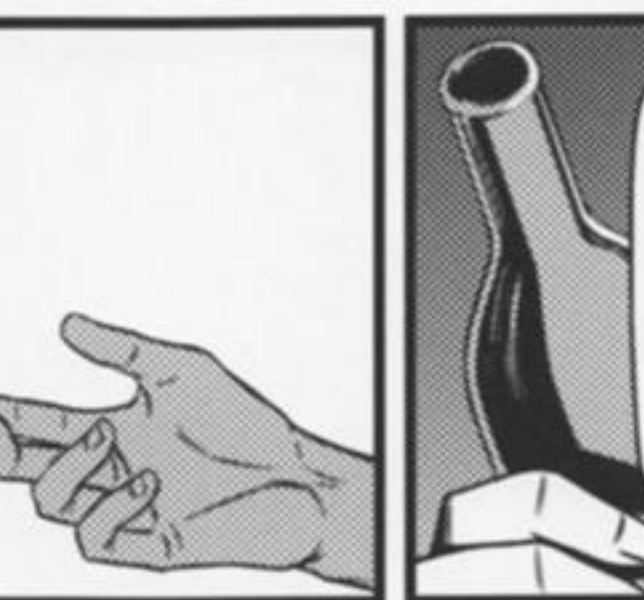


長い付き合い
だから
分かるんだよ



黙れ
クソメガネ







しゅる

しゅる

しゅる

しゅる

おお

んお

んお

んお

んお

んお

んお

んお

んお

んお



またイクか？

イクか？

おっおっ



ほら我慢
すんなよ！！



んっ！！





ふーん……
そんなことが
……ね

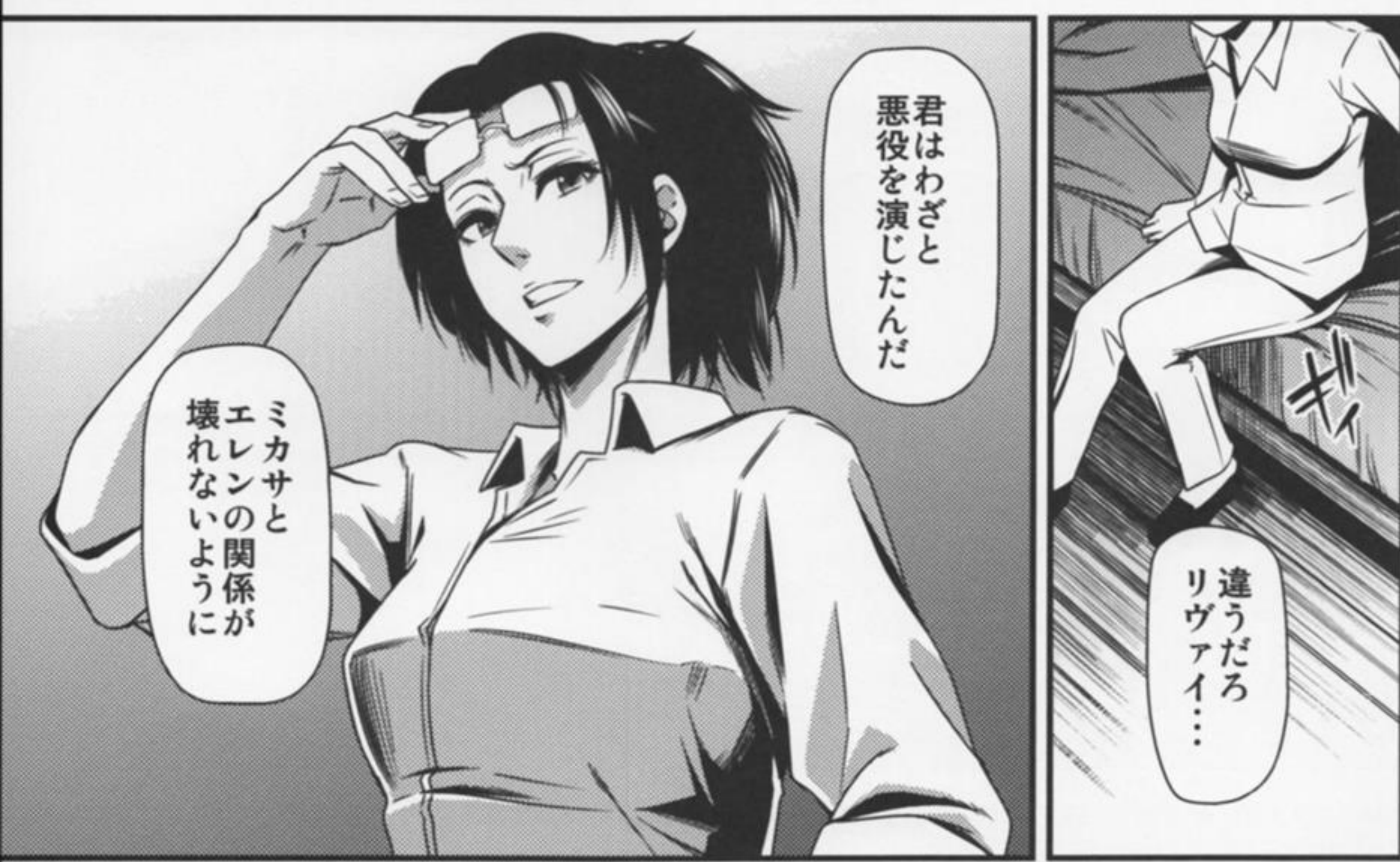


だからって
エレンの前で
ミカサを犯すなんて

無茶を
するなあ

ふん

あいつらが
チンタラやっ
てるからだ



君はわざと
悪役を演じたんだ

ミカサと
エレンの
関係が
壊れない
ように




違うだろ
リヴァイ……




そんな行動で
うまく事が運ぶと
思っているのかい？

……


ほんと
不器用だなあ




君はそれで
エレンに発破を
掛けたつもりかも
しれないが…




彼の性格からすると
逆に暴拳に出ても
おかしくない



そうならば
ミカサは余計に
傷つくかも
しれないんだよ?



知るか!!



あとは
あいつらの
問題だ…



俺には関係ない

よく耐えたな
ミカサあゝ



はっ

あっ

はっ...



ハア

流石にこっちも
指が吊りそう
だったぜ……

ハア

ハア



はっ



あ……ああ

え……？

や……

こんだけ
イカされた後だと
すんなり
入りそうだな



だが本番は
これからだぜ



ま…待って
エレン!!

お願い

少し休ませ…

はあ？

俺は今すぐ
入りたい
んだよ…



お前が俺の好きに
していいって
言ったんだろ？

やっ!!
ああっ

なんだよ？
意地張ってないで
嫌なら嫌って
ちやんと言えよ

もう限界
なんだろ？
しょうがねえ
三秒だけ
まってやる



さっさと
言っちゃまえよ

私は…エレンと
結ばれることを
願っていた…

え…
え…
え…



おらっ!!

根元まで
啜えろよ!!

あああああ
あああああ
あああああ



どうした!?
暴れんなよ!!

すげえ反応だぞ
ミカサ!!

奥がそんなに
いいのか?

もう!!

なら...

あああ

あああ

あああ



もっと突いて
やらないとな!!

はっ!!

おまえ
突く度に
イってんじや
ねえーのか!?

やつ

ああつ

いやつ

もう
イきたくない

イきたく
ないいっ

ひあつ



どうだ：
ミカサ!!

やめて
欲しいか!?

もう突いて
欲しくないだろ!?

こんな事
されても
俺がいいって
のか!?

俺より
兵長を選べば
楽になれるぞ!!

言えよ

言っち
まえよ!!

兵長が
いいって
言えよ!!



なんだよ
なんなんだよ
ミカサ!!
なんでこいつ
こんな……
俺なんかの
ために……



お前にとって
ミカサは
なんなんだ?



俺にとつて
お前はいつも
当たり前について……

いつだって
俺を助けてくれた



だけど……



俺はお前の
優しさに
気づいていた……



優柔不断で
力もない……

兵長の問いにも
答えられない

こんな俺を……
ミカサが
選ぶなんて……



そんな言葉




ごめんなさい
エレン!!




どうやって
信じれば
いいんだよ……





私は6年前から
ずっとエレンが
好きだった


なのに私は
エレンを傷つけて
しまった




もう
迷わない

私は
エレンだけを

エレンだけを
見続ける!!



信じて
エレン!!



ミ……カサ……





ハッハ……!!





この前の
問いの答えが
でました

.....



なにか
ようか

エレン...



ミカサは
俺にとって大切な女です

たとえ兵長でも
譲れません

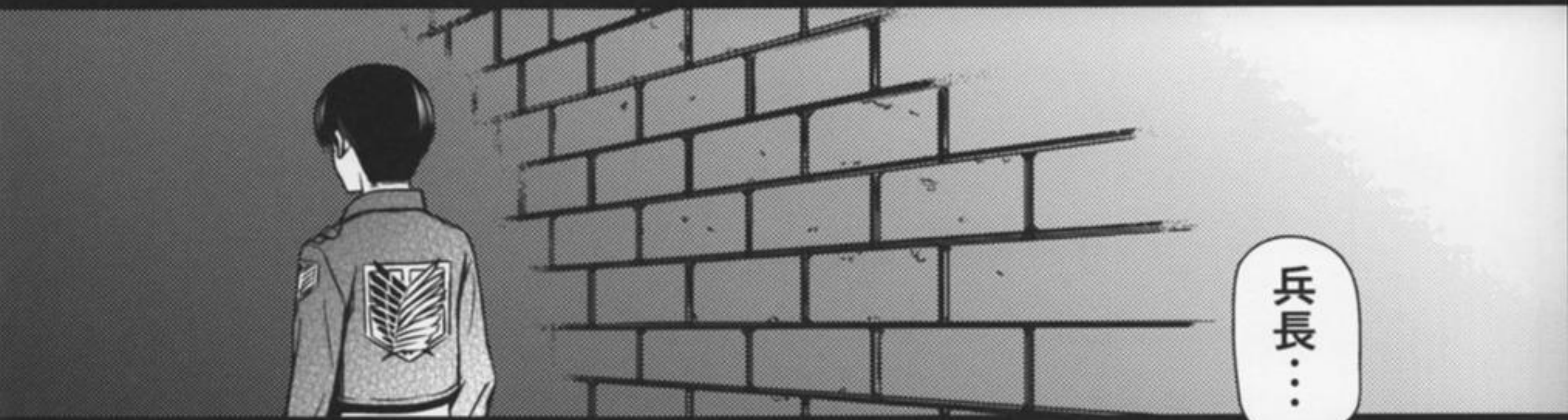
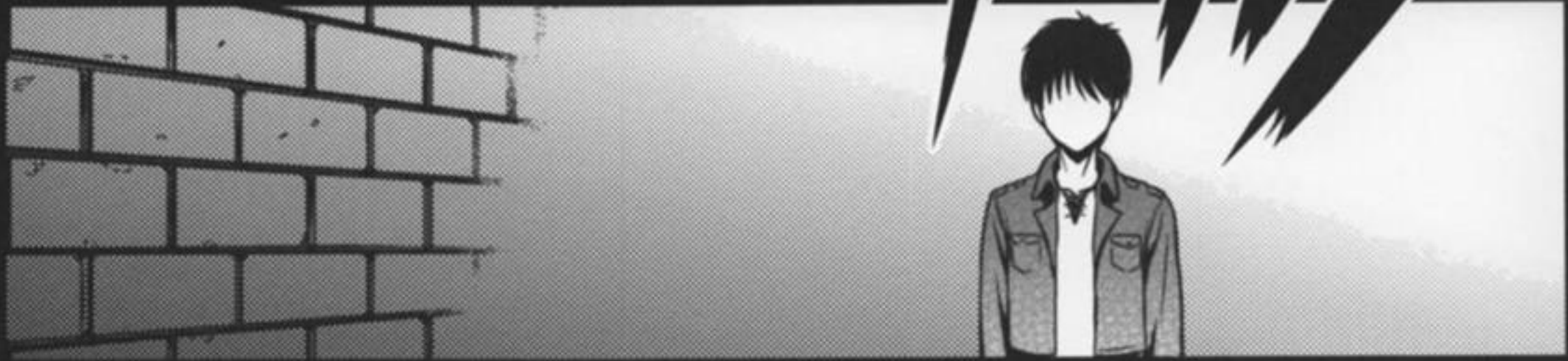
俺がミカサを
守ります



.....



わかった



兵長...



ありがとうございました

皆様ありがとうございました!!

撃針シリーズはこれにて完結です。

リヴァミカエンドを期待していただいていた方が多くそのルートに路線変更しようかと迷ったのですが当初の計画通りエレミカエンドに至ったわけです。

この撃針シリーズのヒロインはもちろんミカサです。ヤンデレと言われていますが、それはあふれんばかりの母性を持っているからだと思います。僕がミカサを好きな理由がそこですね。ミカサの母性に包まれているエレンが羨ましいです。

じゃあこのシリーズの主人公は誰かということエレンではなくリヴァイですね。一見、粗暴で怖くて狂気じみている、だけど見え隠れする不器用な優しさ。そういうところがリヴァイの魅力だと思います。

ミカサのエレンへの愛と、リヴァイの不器用な優しさを表現したつもりですが皆様に少しでも伝わっていればサークル冥利につきます。

サークル結成後いろいろありましたがどれもいい経験でした。特に驚いたのは皆様からの反響でした。こちらの予想以上にツイッターなどで感想や意見を頂けたのが大変うれしくてメンバー一同、何度も読みなおしては喜んでいました。作品を通じて皆様と交流できたことが同人活動を始めて良かったことのひとつです。

ひとまず撃針シリーズはこれにて完結ですがまた描きたいネタが溜まりましたら進撃本を出すかもしれません。そのときはよろしくお願い致します。

清澄ハリケーン一同

奥付

発行日:2014年12月30日 初版
発行:清炭ハリケーン
発行者:清炭ハリケーン
連絡先:kiyotanhari@yahoo.co.jp
印刷所:有限会社金沢印刷

う
ま
く
た
い
だ
い
ね
っ
た
:





盗み聞きとは
悪趣味だな
クソメガネ

たまたまだよ
たまたまだよ
たまたまだよ

……

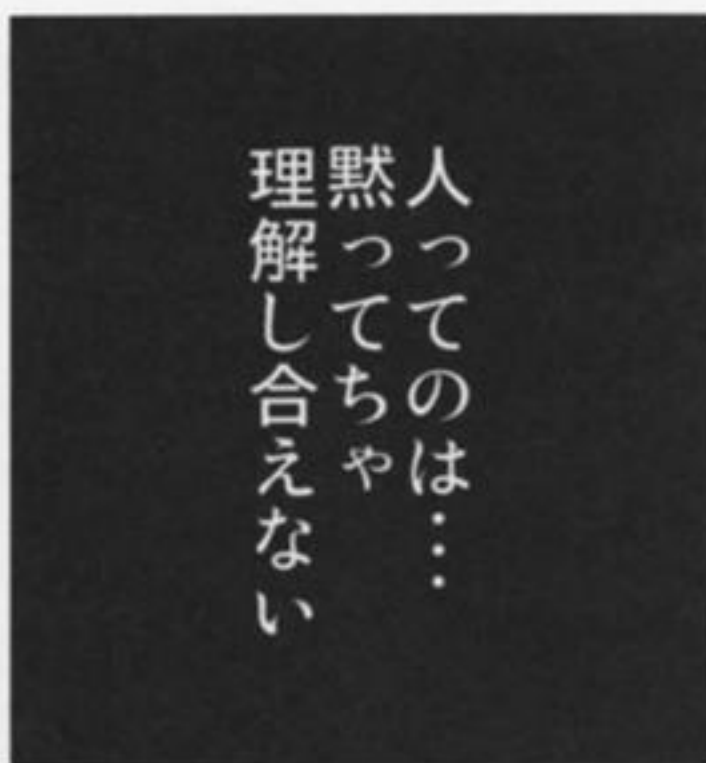


リヴァイは
これで
よかったんだ
よね？

……
ああ

ホントに？

ああ



人ってのは……
黙ってちゃ
理解し合えない



そんな悲しい
顔してるんだよ



じゃあなんで……



あのさあ
リヴァイ……
ちよつと話が
あるんだけど……

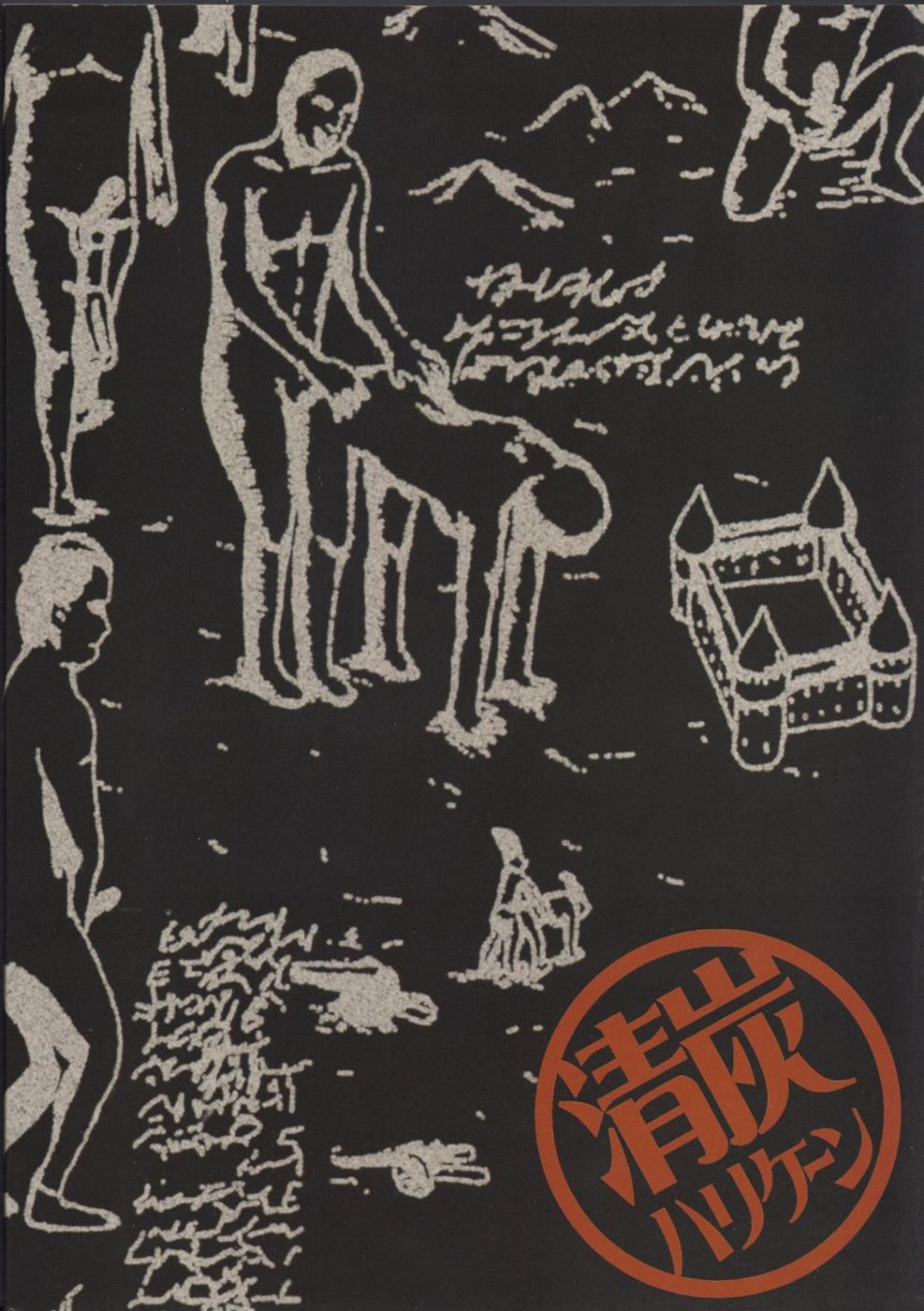
おお

なんだ
改まって

気持ち悪い

人に言つといて
自分はどうかだつて
話だよ……
まったく……
私としたことが





Handwritten text in a cursive script, possibly Chinese or Japanese, located in the upper right quadrant of the illustration.

Handwritten text in a cursive script, possibly Chinese or Japanese, located in the lower left quadrant of the illustration.

